

12月中旬 配本（四六判、208ページ、予価 1500円+税）

アサダワタル CD アルバム「歌景、記譜、大和川レコード」（路地と暮らし社）同時発売！

文・写真：アサダワタル

表現のたね

アサダワタルの日常から紡がれた

23 篇の物語

*表現のたね *ホトリの偶然 *選び採取された日常 *インサート・リライト *ズレの創作
 *秘密のボタン *家具を鍛える *音楽と言葉が織りなす共感覚 *免許講習演劇 *椅子を置く
 *観光者のまなざしを手に *捨てずに離れる *信仰に裏切られたこと *ショーシャンの45日間
 *通院と旅 *ピンクフラミンゴが見えるあの小屋から *炊飯の境目 *搔くこと *カテキョーと応援
 *25cmの風景 *バック転 改め 園芸屋の撒水 *駅は育む(*カメラ、カメラ、カメラ！
 *穴 *本のチカチカを読む *待ち合わせグズ) *雨の「通過」表示

批評家・佐々木敦氏
 による解説つき！

2012年「**住み開き**」（筑摩書房）、2014年「**コミュニティ難民のススめ**」（木楽舎）……

独自の眼差しで社会に風穴を開け続けるアサダワタルの著作第3作は、

誰も読んだことのない、表現をめぐる日常紀行！



アサダワタル…1979年大阪生まれ。作家、ミュージシャン。言葉と音楽を駆使して、何気ない暮らしに埋もれる「表現」に光をあてる、自称“日常編集家”。2002年、バンド「越後屋」のドラマーとしてくり主宰レーベル NOISE McCARTNEY RECORDS より2枚のCDをリリース。2003年以降、サウンドユニット「SjQ」(HEADZ / cubicmusic) のドラム担当と平行して、ソロプロジェクト「大和川レコード」始動。2005年に自主レーベルより1stCD『選び採取された日常』をリリース。2008年以降は、全国各地で地域コミュニティに関わるアートプロジェクトの企画演出や、小学校や福祉施設を舞台にした音楽ワークショップを実施するなど、より日常生活に根ざした音楽活動に移行する。2010年以降、これらの特異な経験を踏まえて「表現と日常」をテーマにした一連の著作を発表。著書に『住み開き 家から始めるコミュニティ』（筑摩書房）『コミュニティ難民のススめ 表現と仕事のハザマにあること』（木楽舎）、『アール・ブリュット アート日本』（平凡社、編著）。現在は、「アサダワタル」名義でのソロ活動を再開。2013年、「SjQ++」にて、アルス・エレクトロニカ、サウンドアート・デジタルミュージック部門の準グランプリ受賞。

▶ご注文はツバメ流通出版まで Fax:03-3721-1922 Tel:03-6715-6121 mail: info @ tsubamebook.com

貴店名（番線印）	新刊		モ＊クシュラ http://mochuisle-books.com/ 返品条件付注文扱い 返品了解 ツバメ出版流通：川人
			本体価格 1,500円+税（予価）四六変形 208ページ 表現のたね
ご担当者	様	冊	ISBN 978-4-907300-02-9 C0070 1,500円+税（予価）